

整形外科

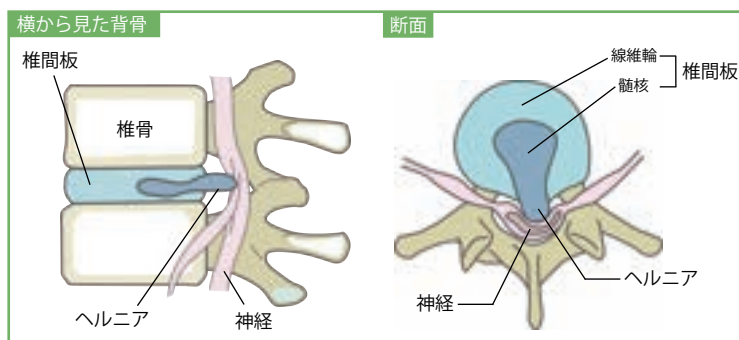
せきつい せきずい 脊椎・脊髄外科センターについて

当センターは、整形外科領域の中でも患者様の多い脊椎・脊髄疾患を中心に日本脊椎脊髄病学会に所属する専門医が治療を行います。脊椎の中には脊髄神経が通っていますが、様々な原因でこの神経が障害をきたすと、痛みやしびれで日常生活が不自由になり、悪化すれば手足の麻痺に進行する場合があります。

● 椎間板内酵素注入療法（ヘルニコア）とは？

〈対象疾患〉腰椎椎間板ヘルニア

脊椎は椎骨^{ついつつ}という骨が積み重なって構成されており、この椎骨と椎骨の間でクッションの役割を果たすのが椎間板^{ずいかく}です。椎間板内部は髄核と呼ばれる保水成分で構成され、周囲を線維輪が囲んでいます。この髄核が何らかのきっかけで線維輪を飛び出し、神経を圧迫して、下肢の痛みやしびれ、腰痛などの症状を引き起こすのが、腰椎椎間板ヘルニアです。



治療方法

この治療は、椎間板内に酵素を含んだ薬剤（ヘルニコア）を直接注入してヘルニアによる神経の圧迫を弱める方法です。椎間板の内部にある髄核には保水成分が豊富にあるため、水分を含んで膨らんだ状態にあります。この髄核にヘルニコアを注射すると有効成分であるコンドリナーゼによって保水成分が分解され、水分によるふくらみが縮小します。その結果、神経への圧迫が改善し、痛みやしびれが軽減すると考えられています。

治療の流れ

- ①入院日にX線透視室にて、局所麻酔後ヘルニアのある椎間板に針を刺し、薬剤を注射
 - ②入室から退室までおよそ1時間程度で終了
 - ③経過観察のため、1泊入院をしていただき翌日退院となります
- ※投与後1週間は腰に負担のかかる動作は避けてください



医師紹介



湯川 泰紹 医師

資格・所属学会

医学博士
日本整形外科学会
専門医・脊椎脊髄病医
脊椎内視鏡下手術技術認定医



加藤 文彦 医師

資格・所属学会

日本整形外科学会
日本脊椎脊髄病学会
専門医・脊椎脊髄病医
名誉指導医

診療予約



052-353-9100

月曜から金曜 9:00 ~ 17:00
(祝日・年末年始を除く)

外来診療日時

9:00~12:00 (窓口受付／8:30~11:30)

月	火	水	木	金
湯川 泰紹	加藤 文彦		湯川 泰紹	

問い合わせ先

医療法人偕行会 名古屋共立病院
名古屋市中川区法華一丁目172番地

TEL

052-362-5151 (代表)



ホームページはこちらから